



三重県議会議員 こうすけ しもの幸助 県政レポート

2014年1月
新春号 VOL.9

三重県議会議員(鈴鹿市選出)

しものこうすけ
下野幸助(37歳)

- ①戦略企画雇用経済常任委員会 委員
- ②予算決算常任委員会 委員
- ③三重県議会広聴広報会議 委員
- ④「実はそれ、ぜんぶ三重なんです!」連携調査特別委員会 委員



発行: 三重県議会議員しもの幸助事務所 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

平成25年三重県議会定例会(11月) 下野幸助議員、一般質問に登壇!

平成25年三重県議会定例会(11月)において、下野幸助議員が質問に立ち、4項目について質問しました。

■質問項目

- ①三重県財政の現状と今後について
- ②三重県の介護保険制度に対する現状と健康寿命の延伸対策について
- ③みえライフイノベーションにおける県とMie LIPの連携について
- ④技術立国「日本」、ものづくり立県「三重県」を支える中学・高校の教育環境(工業分野)の促進について



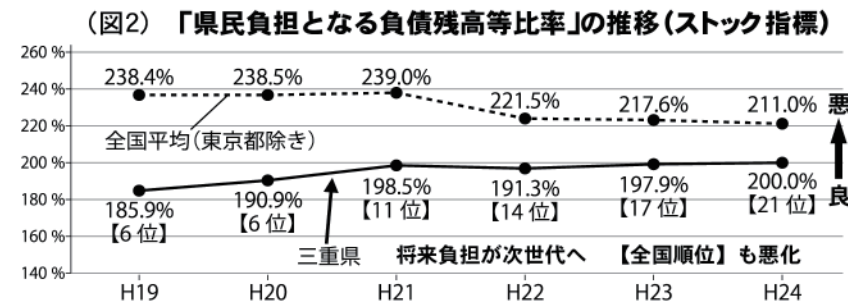
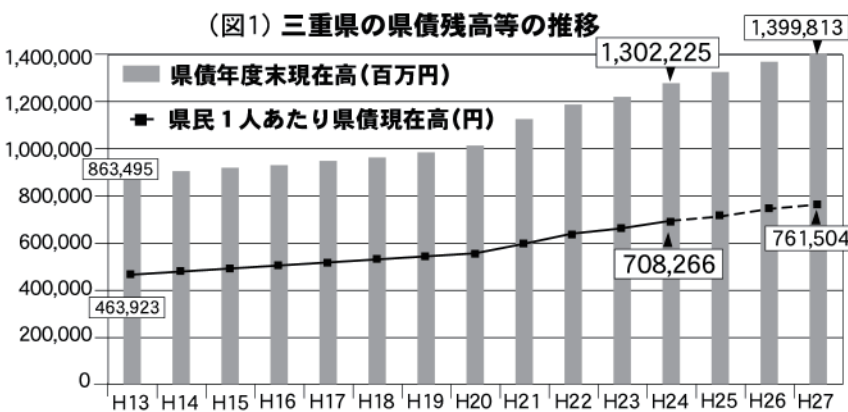
1 三重県財政の現状と今後について

下野質問

三重県の県債(県の借金)残高は年々増加し、平成24年度決算で1兆3千億円に達し、県民一人当たりの借金は70万円を突破しました。将来負担比率の県別順位も平成19年以降悪化し続けており、将来世代に健全な財政を引き継いでいくため、今後の知事の対応について伺います。

知事答弁

将来世代に負担を先送りしない持続可能な財政運営が肝要であり、そのため県債発行の抑制に配慮した予算編成を実施するとともに、これまでの事業の成果を検証しつつ、県民のニーズや社会経済情勢の変化等を踏まえた事業の優先度判断を行ってまいります。



2 三重県の介護保険制度に対する現状と健康寿命の延伸対策について

下野質問

三重県の人口は2010年実績の185万人から2040年推計では150万人に減少します。高齢化率も2035年推計では33.5%と3人に1人が65歳以上の高齢者となる見込みです。平成25年度当初予算で三重県の介護費用額は1516億円。その内、県の負担額は199億円となっており、ここ数年では毎年10億円ずつの増加が続いています。このような状況の中で、三重県としての健康寿命の延伸対策についてご回答願います。

局長答弁(医療対策局)

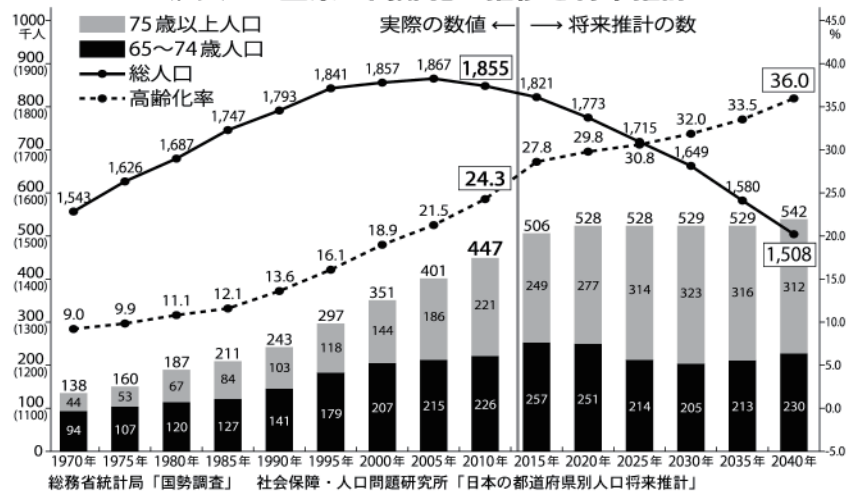
高齢化が加速する社会において平均寿命だけでなく、いかに健康で長生きするかは重要な課題であり、障がい期間を短くし、健康寿命の延伸のためには健康づくりから病気の予防、早期発見・治療までの一連の健康対策を進める必要があります。三重県では平成24年度に策定した「三重の健康づくり基本計画」に基づき、「健康寿命の延伸」をめざした取り組みを推進しています。

(図3) 三重県の健康寿命(平成23年) (単位:年)

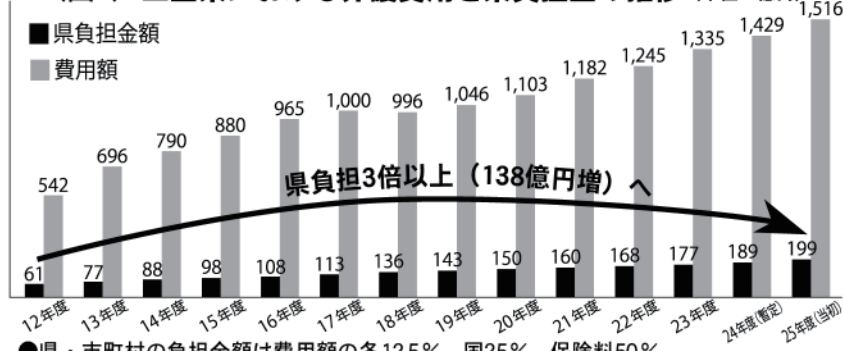
性別	男			女		
	平均寿命	健康寿命	障がい寿命	平均寿命	健康寿命	障がい寿命
	79.7	77.1	2.6	86.1	80.1	6.0

[健康寿命] = [0歳平均余命(平均寿命)] - [障がい期間]

(図4) 三重県の高齢化の推移と将来推計



(図5) 三重県における介護費用と県負担金の推移(単位:億円)



●県・市町村の負担金額は費用額の各12.5%、国25%、保険料50%
※施設等給付の場合は国20%、都道府県17.5%

3 みえライフイノベーションにおける県とMie LIPの連携について

下野質問

平成24年7月25日に国の総合特区の指定を受けた「みえライフイノベーション総合特区」には、Mie LIP津、Mie LIP伊賀、Mie LIP鈴鹿、Mie LIP多気、Mie LIP鳥羽、Mie LIP尾鷲の6つ地域拠点があり、Mie LIP鈴鹿では鈴鹿医療科学大学白子キャンパスにて医療機器の研究開発や介護支援ロボットHALによるトレーニングなどが行われています。多くの県民が、みえライフイノベーション総合特区による研究開発に期待をしており、継続的な県との連携強化を求めますが、県の対応をお伺いします。

部長答弁(健康福祉部)

研究開発支援拠点であるMie LIPは、経済産業省の支援により、本年9月から運営が開始されました。Mie LIPでは、首都圏や関西圏での展示会の開催、関係企業との製品開発マッチング、海外企業への販売促進活動などの事業を計画しており、県としても連携を強化して取り組んでまいります。

■地域活性化総合特区みえライフイノベーション総合特区
Mie LIP: 研究開発支援拠点である、みえライフイノベーション推進センター(Mie Life Innovation Promotion center)

- ①Mie LIP 鈴鹿(鈴鹿医療科学大学白子キャンパス)
 - 1.医療機器や介護支援ロボット(ロボットスーツHAL等)や周辺機器等の研究開発
 - 2.大学の研究機能を活用した医薬品や機能性食品の開発等
- ★Mie LIP センtral(三重大学)
- ②Mie LIP 津(三重県工業研究所)
- ③Mie LIP 伊賀(三重大学伊賀研究拠点)
- ④Mie LIP 多気(多気町役場)
- ⑤Mie LIP 鳥羽(鳥羽市役所)
- ⑥Mie LIP 尾鷲(尾鷲市役所)

4 技術立国「日本」、ものづくり立県「三重県」を支える中学・高校の教育環境(工業分野)の促進について

下野質問

ものづくり立県、三重県の経済に近い将来、大きく貢献していただく中学生・高校生の現場研修、現場体験に対して、より多くの機会の創出について、今後の県としての方向性を示し願います。

知事答弁

中学生においてもものづくり体験をしていくということは重要だと思います。先般、私も下野議員にご紹介いただいたEne-1グランプリに、中学生のチーム(みえサイエンスネットワーク所属:裏面9参照)の応援をしました。彼らはきつとF1のコースを走れたということで、成功体験を得るとともに、今後の学習意欲、あるいは目的意識というのが強くなったと思っています。そういう意味で、これから学校教育の場だけでなく、企業にも働きかけなどをして、特に体験の機会を創出できるように引き続き取り組んでいきたいと思っています。

平成25年三重県議会議員 ^{こうすけ}しもの幸助 県政10大ニュース

1 平成25年1月～ 堤防の老朽化対策・液状化調査 現場視察

平成24年度～平成27年度にかけて、堤防の老朽化対策・液状化調査を行っています。老朽化対策箇所は三重県全体で200箇所(鈴鹿市内34箇所)。鈴鹿市内では平成24年度実績7箇所、平成25年度は白子、千代崎、南若松地区の12箇所を行います。今後も地元の皆様とともに防災対策に注力して参ります。



2 平成25年1月～ 一級河川浪瀬川 災害現場視察

平成24年9月30日の台風17号に伴う豪雨により被災した一級河川浪瀬川2箇所にて災害関連事業が採択され、平成24年度～26年度にかけて復旧・改良工事を行っています。早期工事完了を目指し、注視して参ります。



- (1) 鈴鹿市木田町～石薬師町地内(約2.34km):約4.2億円
- (2) 鈴鹿市石薬師町～下大久保町地内(約1.34km):約2.7億円

3 平成25年1月～ 中勢バイパス5工区(サーキット道路～県道亀山鈴鹿線:約1.8km) 視察

中勢バイパス5工区につきましては、国・三重県・鈴鹿市の連携および地域住民の皆様のご協力により、平成26年4月開通予定となっています。残る4工区(玉垣地区:約2.8km)および7工区(天名地区:約2.8km)についても早期完成を目指して取り組んで参ります。



4 平成25年2月～ 三重県議会広聴広報会議「出前講座」四日市市常盤西小学校 開催

三重県議会広聴広報会議(県議10名所属)の一員として、三重県議会をより身近に感じて頂き、将来の住民自治を担う県民としての意識を育成することを目的に、小学生を対象に「出前講座」を行いました。広聴広報とは県民の皆様のご意見を幅「広」く「聴」き、議会で協議して県民の皆様に幅「広」く「報」告することを意味します。



5 平成25年7月～ 三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす条例 施行

三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす条例が平成25年7月1日から施行されました。本条例検討会の一員として条例作成に参画しました。三重県ではここ数年飲酒運転取締件数は600件程度で推移しています。平成26年1月1からは飲酒運転違反者に対してはアルコール依存性に関する受信義務が課せられます。



6 平成25年8月 第62回神宮式年遷宮 御白石持行事

「御白石持行事」は、20年に1度の遷宮諸行事のひとつであり、新しい御正殿の敷地に敷き詰める「お白石」を奉獻する民俗行事で、宮川より拾い集めた「お白石」を奉曳車・木そりに乗せ、沿道や川を練り進みます。神域に入ってから、一人ひとりが白布に「お白石」を包み、遷宮後は立ち入ることの出来ない新宮の御垣内、真新しい御正殿の近くまで進み、持参した「お白石」を奉獻する行事です。



7 平成25年8月 ブラジル三重県人会主催記念式典・交流会(サンパウロ市)

ブラジル三重県人会が主催するブラジル三重県人移民100周年、三重県・サンパウロ州姉妹提携40周年等の記念式典に出席しました。これまでの三重県とブラジル・サンパウロ州との交流を姉妹提携から40周年を迎え『友好交流』から産業連携や観光連携そして環境問題克服をはじめとした相互協力のための『経済交流』へと発展を図り、新しい時代にふさわしい相互恵的な関係を構築することを目指しています。



8 平成25年9月～ 三重テラス(東京日本橋) オープンから15万人が来場!!

三重県は、平成25年の神宮式年遷宮や、平成26年の熊野古道世界遺産登録10周年を迎える機会を生かすため、東京日本橋に首都圏営業拠点「三重テラス」が平成25年9月28日にオープンしました。「三重テラス」を核に、「食」や「観光」、「歴史」、「文化」など三重の魅力の情報発信、三重ゆかりの店舗や企業等との連携など行っていきます。



9 平成25年10月 みえサイエンスネットワーク総会

みえサイエンスネットワークとは、北中部の工業、南部の農林水産業や観光業など、三重県内の産業の特色を生かし、理科・科学教育を実践する地域企業と高等教育機関、ボランティア団体との連帯による科学技術コミュニケーション活動を行い、地域事業への理解の深化と未来の地域を担う科学者・技術者の育成に取り組む地域ネットワークの構築及び運営を行います。ものづくり立県 三重県を支える、子どもたちの理科・科学教育の実践的な機会創出を支援して行きます。



10 平成25年12月 みえライフイノベーション総合特区(Mie LIP鈴鹿)

平成24年7月25日に指定された「みえライフイノベーション総合特区」の地域拠点であるMie LIP鈴鹿(鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス)では医療機器や介護支援ロボット(ロボットスーツHAL等)などの研究開発により、地域の特性を活かした産業創出を支援し、企業立地の促進や雇用の拡大など地域の活性化をめざします。



平成26年度当初予算状況について

三重県では、社会経済情勢の変化や東日本大震災の発生などによる県民ニーズの変化に適切に対応し、県民の皆さんと共に新しい三重づくりに取り組むための指針として、長期の戦略計画である「みえ県民カビジョン」を策定しています。また、平成26年度当初予算の要求事項は「みえ県民カビジョン」を実現するための中期の計画である「みえ県民カビジョン・行動計画」に基づいて協議しています。

●平成26年度当初予算 歳入見込額 5,105億円 差額249億円
 予算要求額 5,354億円 協議中

新政みえ 平成26年度予算政策を三重県知事へ要望

2013年12月18日、三重県議会最大会派 新政みえ(県議24名所属)から三重県知事に対し、平成26年度予算策定に向け、下記のとおり政策要望をさせていただきました。

- 重点要望項目(③本柱 12項目)
 - ①防災対策の強化
 - ②国体を契機としたスポーツ振興の取組強化
 - ③地域医療体制の充実
- 要望項目(29項目)
 - ・三重テラス(東京日本橋)の情報発信力強化
 - ・三重県中小企業振興条例(仮称)の小規模事業者の対策
 - ・三重県障がい者雇用率の向上
 - ・リニア中央新幹線の三重・奈良ルートでの東京・大阪間全線同時開業 など



三重県議会議員 ^{こうすけ}しもの幸助事務所
 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722
 しもの幸助ホームページ(ブログ更新中)
www.k-shimono.com



皆様からのご意見をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

■詳しい内容につきましては、しもの幸助事務所までお問い合わせください。

しもの幸助プロフィール

- 1976年11月 鈴鹿市に生まれる 37歳(11月7日生まれ)
- 1983年 3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
- 1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学(聴講生留学)
- 2001年10月 内閣官房(国家公務員/内閣事務官)
- 2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了(MBA取得/経営学)
- 2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2010年11月 同社退社
- 2011年 4月 三重県議会議員選挙で初当選(鈴鹿市)

facebook

下野幸助

検索

<https://www.facebook.com/shimono19761107>

フェイスブックは毎日更新中です!